

臨海斎場施設整備に伴う増築及び既存棟改修に係る
基本設計（中間報告）について

令和6年8月、港区、品川区、目黒区、大田区及び世田谷区が組織する臨海部広域斎場組合は、臨海斎場における近年の区民ニーズや将来の火葬需要に対応するため、火葬炉10基の増設等を含む「臨海部広域斎場組合施設整備基本方針」（以下「基本方針」といいます。）を策定しました。

今年度、基本方針に基づき、臨海斎場の増設及び既存棟改修に係る基本設計を実施しており、その状況について中間報告します。

1 基本設計（中間報告）について

別紙のとおり

2 今後のスケジュール（予定）

令和 7年 11月	基本設計図、環境配慮項目、省エネルギー性能や概算工事費の検討、基本設計図書の取りまとめ
令和 8年 2月	令和8年第1回臨海部広域斎場組合議会 区長・議長懇談会において最終報告
令和 9年 8月	増築施設に係る実施設計決定
令和10年 5月	増築施設工事着工
令和12年 5月	増築施設工事竣工
6月	増築施設供用開始

臨海斎場施設整備に伴う増築及び既存棟改修基本設計 中間報告

1 コンサプト

(1) 故人との最後のお別れの場にふさわしい施設計画

- ・故人の尊厳を守り、送る人々に安らぎを与える空間をつくり、自然光や周辺の緑を活かした施設とする。

(2) プライバシー性の高い、会葬の各シーンにふさわしい施設計画

- ・出入口を分離し、迎え入れが重なった場合でも独立した動線を確保する。
- ・炉前に独立型の告別室・収骨室を計画する。

(3) 誰もが安心して利用できる施設計画

- ・各棟への誘導案内表示を設け、誰もが利用しやすいサイン計画とする。
- ・バリアフリーとし、全ての人が利用しやすい施設とする。

(4) 既存棟と一体的な運用を実現する増築・施設計画

- ・既存棟と接続することにより、一体的でスムーズな会葬動線、管理動線を構成する。

(5) 持続可能で、環境に配慮した施設計画

- ・環境とBCPに配慮した計画とし、今後の基本設計において検討を進める。
- ・西日を極力遮蔽し、中央部に光庭やハイサイドライトを設けて自然採光・通風を室内に取り入れ空調負荷を低減する。

2.施設概要



所在地 大田区東海1-3-1

敷地面積 22,496.74m²

高さ・規模 約15m・地上3階建て(地下なし)

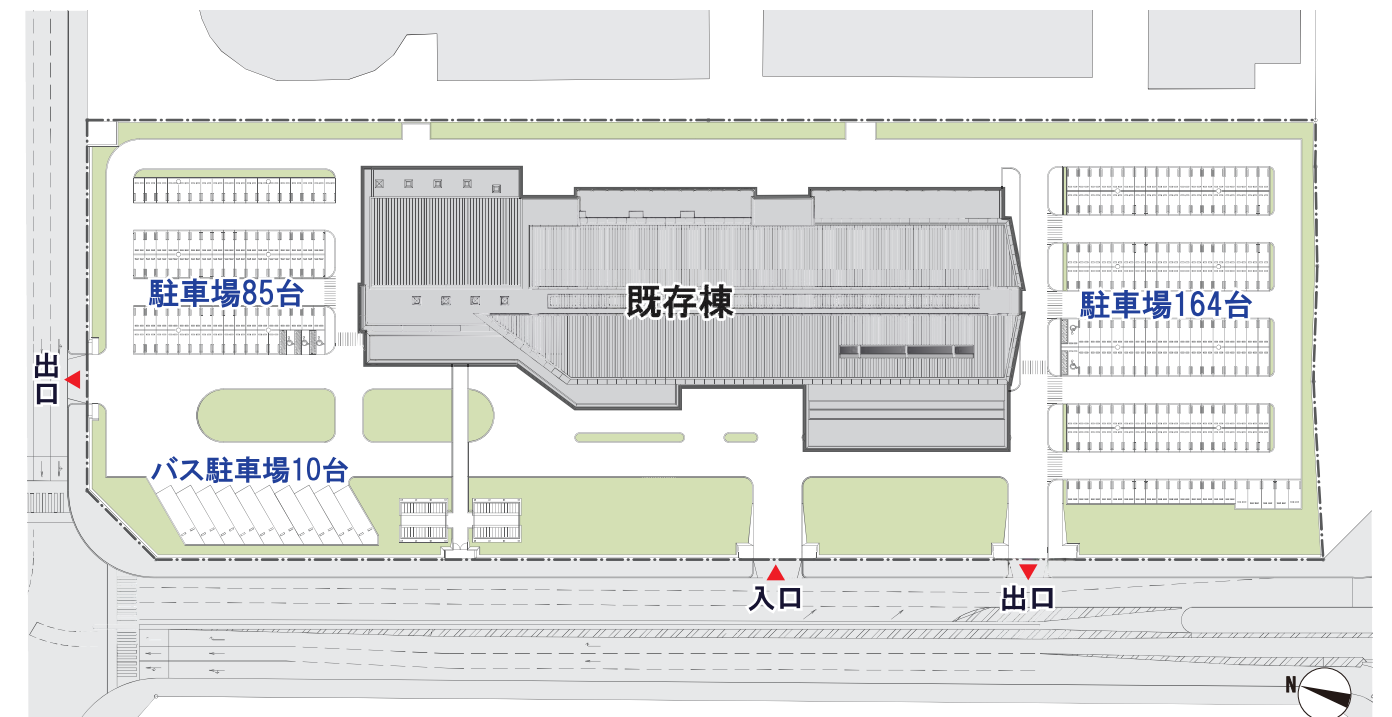
延床面積 約4,400m²（既存棟約7,600m²）

各階面積

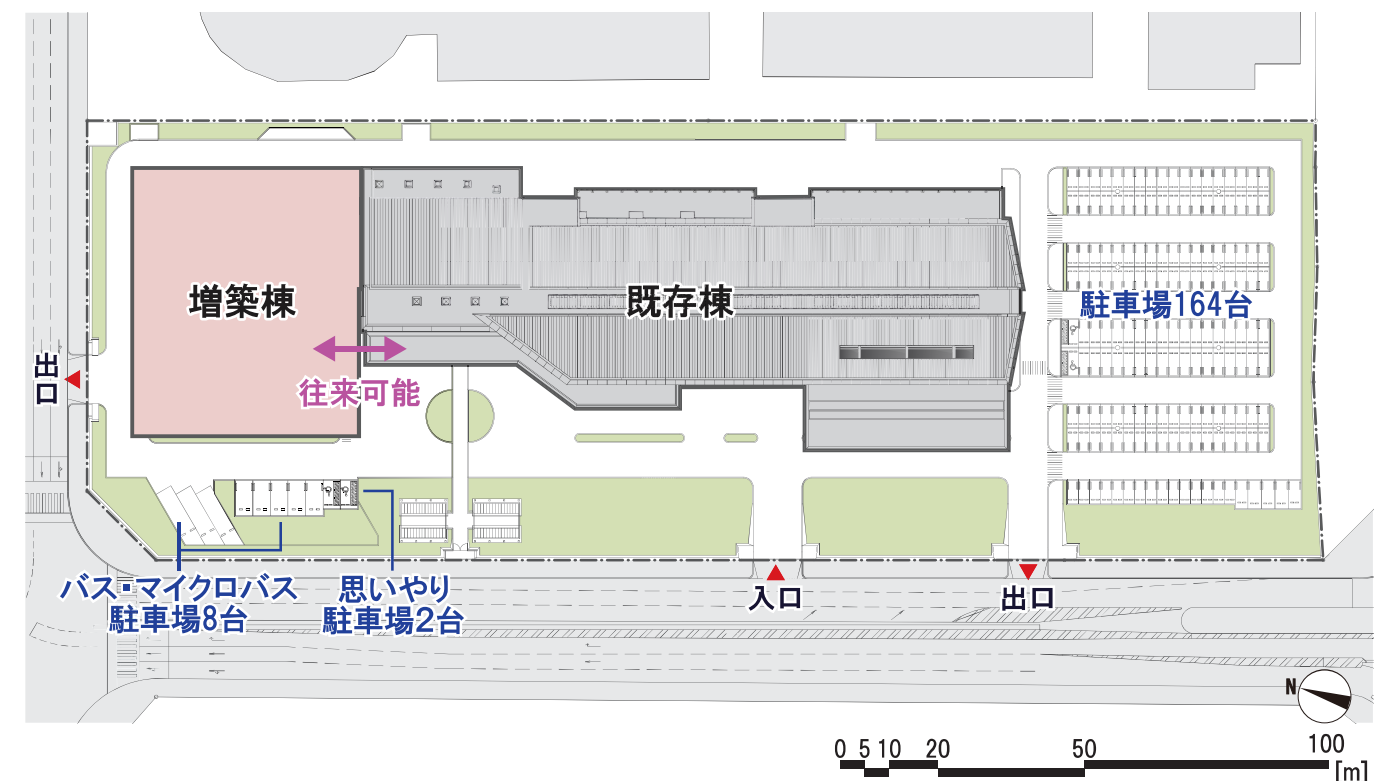
1階	告別室・収骨室・火葬炉設備等	約1,900㎡
2階	待合室7室・多目的室3室等	約2,150㎡
3階	設備室等	約350㎡

3.配置計画

計画前 駐車台数 計249台 (バス駐車場10台除く)



計画後 駐車台数 計166台 (バス・マイクロバス駐車場8台除く)



4.平面計画

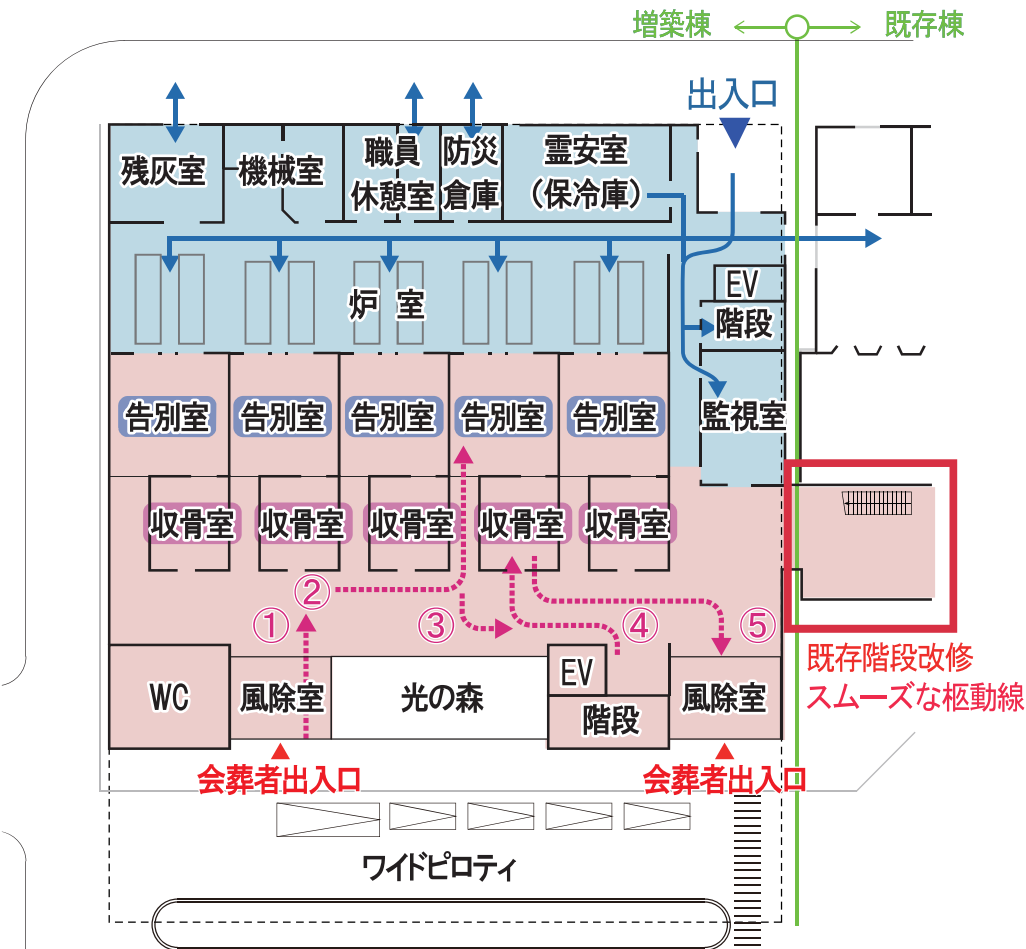
- ・増築棟の各諸室の構成イメージと動線計画を下記に示す。
- ・赤いエリアが主に会葬者利用、青いエリアが主にスタッフ利用を想定。

凡例

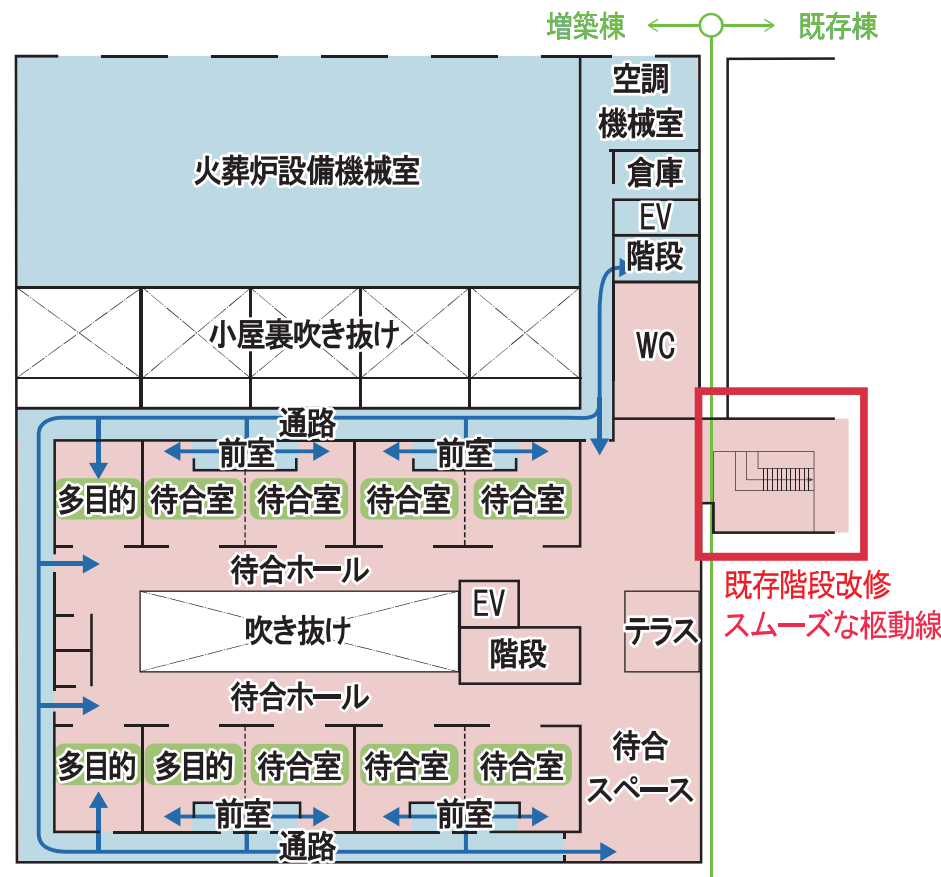
- 会葬者の動線 ★ 火葬の手順
【①到着 → ②告別 → ③火葬(待合) → ④収骨 → ⑤出発】
- ← スタッフの動線
- 会葬者利用エリア
- 管理諸室エリア

諸室面積

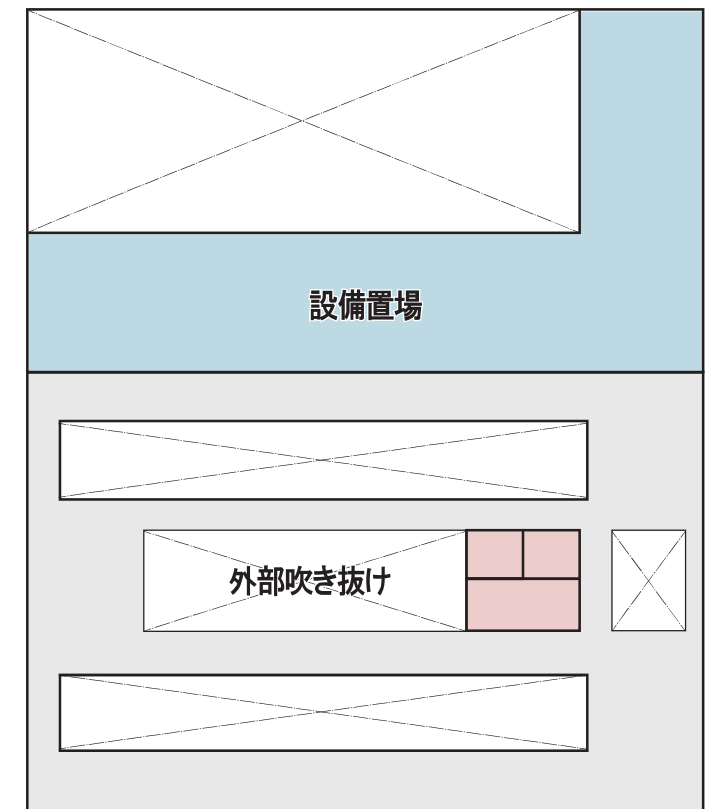
室名称	各室合計面積	1室あたり
告別室(1階)	約340㎡	約68㎡
収骨室(1階)	約160㎡	約32㎡
待合・多目的室(2階)	約520㎡	約52㎡



1階平面図



2階平面図



3階平面図

5.火葬炉計画

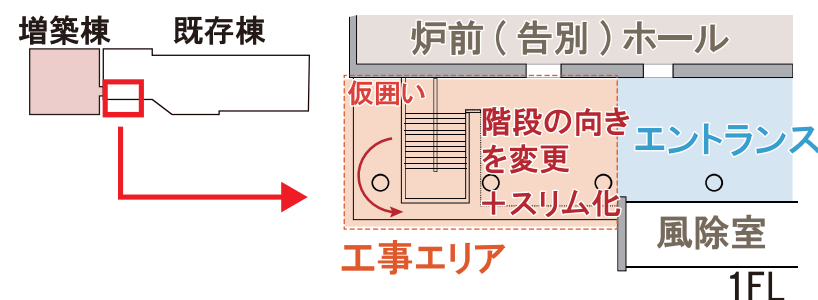
	大型炉	超大型炉
火葬炉基数	9基	1基
火葬件数	通常3回/炉・日 (緊急時等3.5回/炉・日)	

[火葬炉イメージ]



6.既存棟の改修

- ・既存棟から増築棟へのスムーズな動線を確保する。
- ・増築後に運営上も一体連携が可能となるよう、既存棟と設備の改善を図る。



7.今後のスケジュール

R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度	R10(2028)年度	R11(2029)年度	R12(2030)年度
基本設計	都市計画変更	実施設計	工事		供用開始
火葬待合室の式場利用 4室開始					火葬待合室の式場利用 8室開始

※今後の詳細な検討に伴い、変更する場合があります